



水稲用中・後期除草剤

農林水産省登録 第24722号

ガンカロス Z

1キロ粒剤

シクロピリモレート・シメトリン・
テフリルトリオン・プロピリスルフロン粒剤



問題雑草の悩みを解き放ち、

プレミアムな中・後期除草の世界へ。



農林水産省登録 第24724号

ガンカロス

IX ジャンボ

シクロピリモレート・シメトリン・テフリルトリオン・ペノキスラム粉粒剤



ノビエ

オモダカ

コナギ

ホタルイ

クログワイ

クサネム

イボクサ



三井化学クロップ & ライフソリューション株式会社



農林水産省「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載された農業です。

グランクロス Z 1キロ粒剤

サイラ(シクロピリモレート)…1.5% シメトリン…1.5%
 テフリルトリオン…3.0% プロピスルフロン…0.90%



グランクロス Sジャンボ

サイラ(シクロピリモレート)…3.0% シメトリン…3.0%
 テフリルトリオン…4.0% ペノキスラム…1.0%

除草剤分類 33.5.27.2
 人畜毒性：普通物*

*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

残ってしまった雑草に！「サイラ、配合のプレミアムな中・後期除草剤！

❖取りこぼしや後発雑草の防除に、移植後14日から湛水状態で使える中・後期除草剤です。

ノビエにも多年生雑草にも！4成分のバランス配合で幅広い草種をカバー！

❖ノビエ(4葉期まで)はもちろん、クログワイ、シズイ等の難防除雑草、イボクサ、クサネム等の特殊雑草にも高い効果を示します。

強力な自化作用が違！抵抗性雑草にも負けない効力！

❖サイラ×テフリルトリオンの相乗効果で、ALS阻害剤抵抗性を含むホタルイ、オモダカ、コナギ等に対しても優れた効果を発揮します。

省力散布にも対応！ソニックスプレッド®テクノロジー*採用のSジャンボ！

❖拡散性能に優れたグランクロスSジャンボは、30a程度までの田んぼなら畦から投げ込むだけでOK！

*独自のキャリアーと数種の界面活性剤の絶妙な配合によって、優れた拡散性能を発揮するジャンボ剤の独自製剤技術。

グランクロス Z 1キロ粒剤

適用雑草と使用方法

2024年12月11日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 及び アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後14日 (稲4葉期以降) ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	1kg	本剤 シクロピリモレート剤 2回 シメトリン剤 2回 テフリルトリオン剤 2回 プロピスルフロン剤 2回	湛水散布又は 無人航空機に よる散布

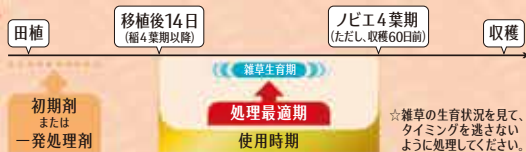
*印は収穫後の残留回数のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

各種雑草の処理適期

ホタルイ	クログワイ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ
草丈15cmまで*	草丈20cmまで	5葉期まで	5葉期まで	草丈25cmまで
オモダカ	ヒルムシロ	セリ	コウキヤガラ・シズイ	アオミドロ・藻類による表層はく離
矢じり葉4葉期まで	発生盛期まで	増殖期まで	草丈20cmまで	発生始期まで

*登録では草丈20cmまでですが、安定した効果のため、15cmまでの使用をおすすめします。

上手な使い方



注意事項

【グランクロスZ1キロ粒剤の注意事項】

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは、必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、田面を露出させないように注意してください。散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
- 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 散布に当たっては散布機種の適合した散布装置を使用してください。
- 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリグ開度を調整してください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう注意してください。
- 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- いさぎ栽培予定の水田では使用しないでください。

- 空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。また、吸湿しやすいので開封後は固く口を閉じ、長期間の保存はさけてください。

【グランクロスSジャンボの注意事項】

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手が届く所には置かないでください。○容器・空袋などは置場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記載しましょう。
 *本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 *本印刷物は2024年12月11日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

グランクロス、CYRA、サイラ、ソニックスプレッドは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標、CYRA、サイラはシクロピリモレートのブランド名です。

グランクロス Sジャンボ

適用雑草と使用方法

2024年12月11日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ、シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後14日 (稲4葉期以降) ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	小包装 (バック) 20個 (500g)	本剤 シクロピリモレート剤 2回 シメトリン剤 2回 テフリルトリオン剤 2回 ペノキスラム剤 2回	水田に小包装 (バック)のまま 投げ入れる

*印は収穫後の残留回数のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

各種雑草の処理適期

ホタルイ	クログワイ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ
草丈10cmまで*	草丈20cmまで	5葉期まで	5葉期まで	草丈25cmまで
オモダカ	ヒルムシロ	セリ	シズイ	アオミドロ・藻類による表層はく離
矢じり葉4葉期まで	発生盛期まで	増殖期まで	草丈20cmまで	発生始期まで

*登録では草丈15cmまでですが、安定した効果のため、10cmまでの使用をおすすめします。

- クログワイ、オモダカ、シズイは、必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用してください。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態にし、処理後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させないようにし、処理後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水を閉じてください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 本剤は小包装(バック)のまま10アール当たり20個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 葉や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、部分的な葉害や効果不足を生じる可能性があるため使用をさけてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意してください。
- 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの葉害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすとともに衣服を交換してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。付着した場合には直ちに身体に洗い流し、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に入れないよう注意して使用してください。
- 処理後は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

【両剤共通の注意事項】

- 多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に処理するように注意してください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように処理してください。
- 稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び補付作業はいていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合、特にいていねいに行ってください。
- 下記のような条件では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
- 軟弱な苗を移植した水田
- 極端な浅植の水田及び浮き苗の水田
- 処理後暑い高温が続く場合には、稲にクロロシスを生じる場合があるが、その後の生育に対する影響は認められません。
- 本剤はその殺草特性からいさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 処理田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。



三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
 ホームページ <https://www.mc-croplifolutions.com>